

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 3月 25日

事業所名 コロニー児童デイサービスにしはら

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10				
	2	職員の配置数は適切である	8	2		職員が少なくてもできる活動を取り入れている	職員の専門性をより高め、効果的なシフト配置を検討していきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	4			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	10				月一会議でチーム事の活動内容の改善点の話し合いに参加している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10				昨年の評価表を基にして今回緊急時、防災訓練等力を入れている
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	4			職員に対しても評価表の公開方法を周知していきたい。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	6			事業所全体で議論し検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10				参加した職員から話す機会を設けている(ミーティングなど)
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	10				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	10				
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	10				
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	10				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	10				
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	10				
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	10					

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	10				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	10				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	4	6			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	4	6			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	4	6			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている		10			発達支援センターの関わりがなかったので今後は、 機会があれば助言、研修を受けたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	10				活動で児童館へ行く機会を設けているが、今 後は交流の機会も積極的に検討したい
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	4	6		西原町内の相談員に連 携している。	西原町から連携があまりないので会議、研修を チェックしているような形で協議会に参加する方法を 考えている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	10				
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている	10				今回、管理者が職員に向けて研修した内容を保護 者に送迎時等で、肯定的なフォローの声掛けを行っ ている	
保護者への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	10				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	10				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	10				
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	10				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	4	6			掲示板に貼り出したり、連絡帳に載せているが定期的では ないので、できるだけ努力したい。
	35	個人情報に十分注意している	10				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	10				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている	6	4			地域の活動に参加はしても、招待する活動が企画できず にいたので交流企画を考えたい。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時 等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	10				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10			毎年職員に参加促している。	参加した職員が伝達研修として行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		10		強度行動研修を受けた職員が、伝達研修で内容を説明周知行っている。	現状では身体拘束が必要となる事態は想定されないが、将来に備えて職員の研修を継続する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	2			新人の職員に対しても速やかに会議で連携していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	6			ヒヤリハット事例がなくまだ作成はしていないがなりそうな場所行動をミーティングは、行っている。